

1

28.10.211800c
南スーダン派遣施設隊

南スーダン派遣施設隊 日々報告

第1741号

閲覧は関係者限定

用済み後破棄

報告項目

1 本文（要約）

- (1) 情 勢
- (2) 本日の活動成果
- (3) 明日の活動予定

2 別紙類（細部活動状況）

- (1) 本日の成果
活動概要
- (2) 明日の活動
 - ア 活動に及ぼす影響
 - (ア) 情 勢
 - (イ) 基盤上（兵站・衛生・人事）
 - (ウ) 総括（評価）
 - イ 活動命令
 - (ア) 施設活動等実施に関する行動命令
（方針・指導要領・各部隊の任務）
 - (イ) 視察・来隊予定
 - (ウ) 隊長・副隊長・CSMの行動予定

3 じ後の予定

4 情報共有事項

5 参考資料

- (1) 気 象
- (2) 暫定政府樹立までの主要結節
- (3) 予想シナリオ（状況推移）と
日本隊に及ぼす影響
- (4) 部隊配置状況
- (5) タスク現況
- (6) 警備の態勢

1 本文（要約）

1 情 勢

凡例 赤字：変化事項

(1) 全 域

ア 和平合意関連

和平合意は、キール大統領が9月30日に地域保護部隊に関する国連への協力を再度示したことや、国際社会から地域保護部隊の早期受け入れや武器禁輸に関する圧力が加わったため、今後進展があるものと思料

一方、南スーダン国内外において両勢力の内部分裂又は離反・統合の動きが確認されるとともに、マシャル第1副大統領派がキール政権に対する抵抗を示すとともにジュバ帰還への意思を示したことから、SPLA-iO指導部の分裂、SPLAに統合されていたSPLA-iOの一部離反、国内外へのマシャル氏の影響力の趨勢について注視が必要

北部のリーア及び南部においてSPLAとマシャル派SPLA-iOとの緊張状態が継続し、予断を許さない状況が継続

イ その他の情報資料

キール大統領は地域保護部隊の展開に前向きな姿勢を見せ始めているものの、市民団体が地域保護部隊の派遣に関して反対を表明しており、対UN感情の変化には注視が必要

また、北部及び南部において、ディンカ族内での反エクアトリアン感情が増大しており、キール大統領が抑制を呼び掛けているものの、その動向には注視が必要

加えて、南アフリカ政府も和平合意への関与を示していることから、今後の政府間の動向にも注視が必要（併せて、プロパガンダにも注意）

(2) ジュバ市外

ジュバ郊外、特に、イエイ及びカジョケジでのSPLAとマシャル派SPLA-iOとの緊張状態及び東エクアトリアー帯での武装集団による車両への襲撃事案が継続するとともに、ディンカ族とエクアトリアンとの緊張状態も生起、加えて、郊外へ至る経路上での通行許可証等を要求するSOF A違反が継続しており、ジュバ南部への移動には危険が伴う可能性があるが、

今後の治安の改善に期待

し、そのプレゼンスを示したことによる

(3) ジュバ市内

市内は平穏な状態に戻りつつあるものの、夜間に治安機関が強盗、不審者等へ警告射撃等を実施しており、夜間は流れ弾が発生しやすい状態が継続

また、南スーダン政府は安保理決議の受入を原則的に表明しているものの、引き続きS O F A違反の発生状況に注視

では、常続的に射撃が確認されており、
逐次進展が見られるものの、
不安定な状態にあり
引き続き些細な変化に注意が必要

また、I D PとU N P O L等との小競合いにおいてことから、I D P内での対U N M I S S感情の変化には注視が必要

加えて、キール大統領の死亡説やマロン参謀総長の解任説が流れる等、市民の不安が煽られるような噂が流れたこともあり、市民感情の変化には注意が必要（流布源は不明であるが、一時的に市内の一部が緊張状態になったことから、今後の政府の動向に注意）

(4) ウガンダ

2016年2月の大統領選及び5月の野党党首の収監以降は、大規模な暴動等は首都カンパラにおいては確認されていないものの、7月中旬の野党党首の出所以降、野党党首支持者と警察との間で小規模な衝突が首都カンパラにおいても発生しており、集会等の実施場所周辺では注意が必要

また、治安はアフリカの中では比較的良いものの、強盗、窃盗等の一般犯罪の発生が確認されており、夜間の単独外出や昼間でもスラム等への立ち入りは危険を伴う

(5) 活動に及ぼす影響

宿営地においては、夜間の周辺での射撃による流れ弾には注意が必要

また、ジュバ市内においてはハラスメント及びS P L Aによる検問周辺での流れ弾、交通事故への巻き込まれには注意が必要

なお、U Nハウス周辺においては射撃及び銃を携行し徒歩で移動するS P L A兵士が確認されていることから近傍での活動には警戒が必要

3 本日の活動成果

(1) 方針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてUNトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、UNハウス地区西側外壁構築・ケーブル埋設、弾薬庫増設及びUNトンピン地区退避壕構築、英軍LOプレハブ構築を実施する。

この際、ジュバ市内におけるハラスメント及びジュバ西部・南部の戦闘に注視するとともに、UNハウス地区における流れ弾に留意して活動を実施する。

(2) 指導要領

ア 文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、UNトンピン地区における給水活動（成果：13t）

イ 人道支援実施のための環境作り等

(1) UNハウス地区西側外壁構築

第2施設小隊をもって、UNハウス地区における西側外壁構築

(2) UNハウス西側ケーブル埋設

第2施設小隊をもって、UNハウス地区西側外壁沿いにおけるケーブル埋設

(3) UNハウス地区弾薬庫増設

第3施設小隊をもって、UNハウス地区における弾薬庫増設

(4) 英軍LOプレハブ構築

第1施設小隊をもって、UNトンピン地区におけるプレハブ構築

(5) UNトンピン地区退避壕構築

施設器材小隊をもって、UNトンピン地区における退避壕構築

ウ その他の活動

(ア) 情報活動

- a 情報班をもって、UNトンピン地区及びジュバ市内における情報収集活動
- b 隊本部をもって、ジュバ市内及び[REDACTED]における経路偵察

(イ) 業務調整

- a 隊本部等をもって、UNトンピン地区及びUNハウス地区における業務調整
- b 隊本部をもって、日本大使館における調整業務

(ウ) 宿营地内活動

本部付隊をもって、宿营地管理業務

(エ) 教育訓練等

なし

(オ) 民生協力

なし

(カ) 副隊長による、UNハウス地区における現場指導

(キ) 隊本部による、UNトンピン地区における井戸業者の送迎

(ク) 隊本部による、ジュバ市内における銀行業務

(ケ) 隊本部等による、ジュバ空港における業務調整

(コ) 隊本部等による、ジュバ市内における市内研修

エ 表敬等

なし

オ 各種行事

なし

カ 国際機関等連携案件

なし

3 明日の活動予定

(1) 方針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてUNトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施の環境作りとして、UNトンピン地区英軍LOプレハブ構築及び退避壕構築を実施する。

この際、孤児院の慰問を実施し、南スーダンの将来を担う子供達の成長を支援して、南スーダンの平和と発展に寄与するとともに、日本国への信頼を醸成する。

また、各派遣国部隊の下士官を宿営地に招待して交流を図るとともに、各種整備を実施し、装備品等の可動率の維持・向上を図る。

(2) 指導要領

ア 文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、UNトンピン地区における給水活動

イ 人道支援実施のための環境作り等

(1) 英軍LOプレハブ構築

第1施設小隊をもって、UNトンピン地区におけるプレハブ構築

(2) UNトンピン地区退避壕構築

施設器材小隊をもって、UNトンピン地区における退避壕構築

ウ その他の活動

(ア) 情報活動

a 情報班をもって、UNトンピン地区及びジュバ市内における情報収集活動

b 隊本部をもって、ジュバ市内における経路偵察

(イ) 業務調整

なし

(ウ) 宿営地内活動

a 本部付隊をもって、宿営地管理業務

b 各部隊毎、宿営地内における施設、車両、器材等整備

- (I) 教育訓練等
隊本部等による、国連休暇取得者に対する国連休暇前教育
- (f) 民生協力
なし
- (カ) 隊長による、ジュバ市内OH孤児院における慰問
- (キ) 隊本部による、UNトンピン地区における井戸業者の送迎
- (ク) 隊本部による、ジュバ市内における現地調達業務
- エ 表敬等
なし
- オ 各種行事
最先任上級曹長等による、日本隊宿営地における下士官交流
- カ 国際機関等連携案件
なし

1 本日の成果

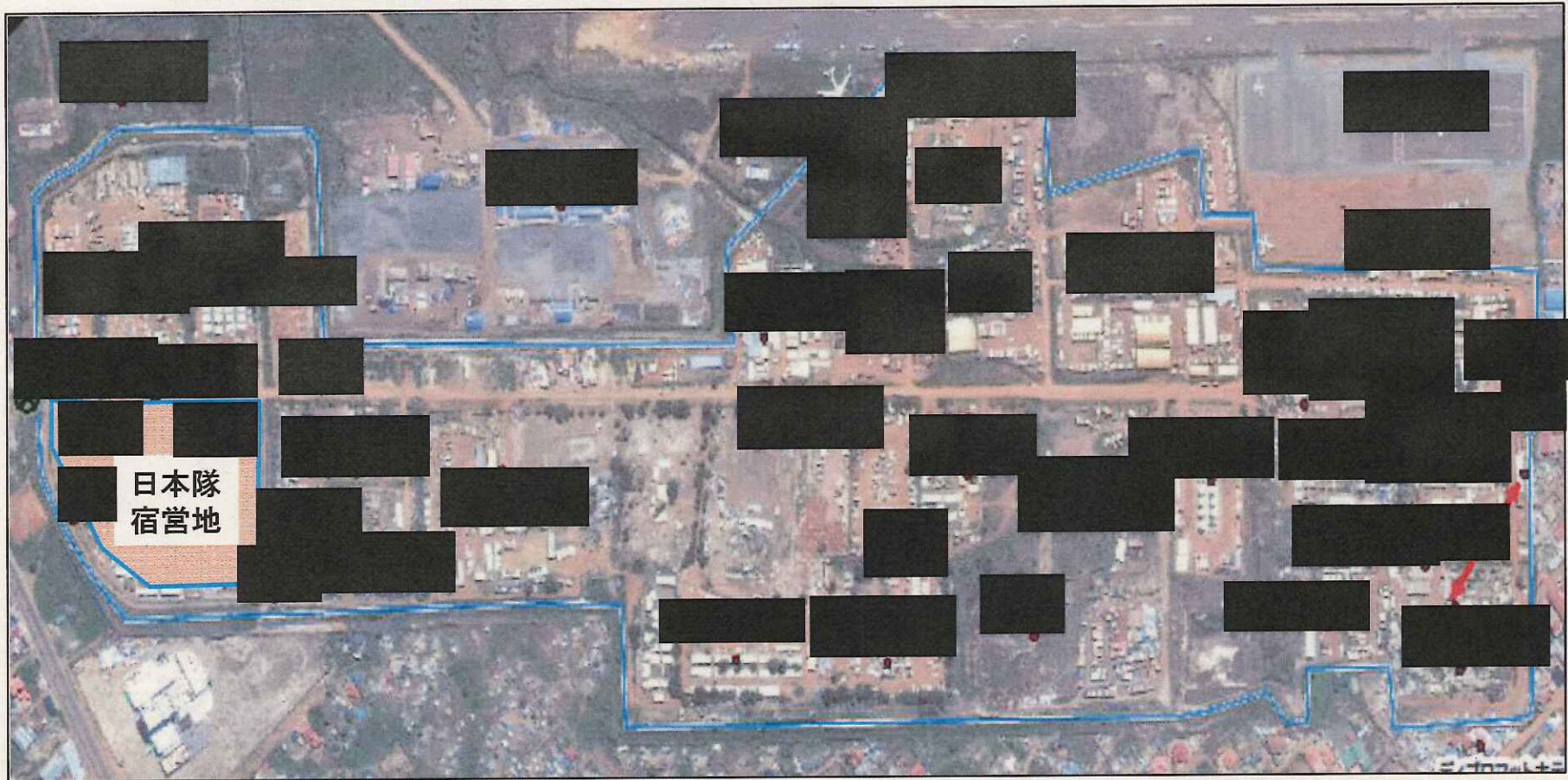
別紙第1「活動概要」
別紙第2「活動成果」

活動概要（UNトンピン地区）（1／7）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	UNトンピン地区退避壕構築	器材小隊	0800～ 1600	UNトンピン内	26	高機×1、大型×1 油圧×1、特大型×2 ロードローラ×1	
②		英軍LOプレハブ構築	1小隊	0800～ 1600	エチオピア 歩兵大隊北側	24	高機×2、大型×2 道路障害作業車×1	
③	その他	給 水	補給班	0800～ 1000	トランジット エチオピア歩兵大隊	2	給水車×1	
④	その他	給 水	補給班	1000～ 1200	ネパールFPU	2	給水車×1	
⑤		業者迎え（井戸）	隊本部 (S-4)	0800～ 1700	メインゲート	2	小型×1	
⑥		業務調整（施設）	隊本部 (S-3)	0800～ 1600	工兵課	4	小型×1	
⑦		業務調整（輸送）	隊本部 (S-4)	0900～ 1630	MOVCON	3	小型×1	
⑧		広報活動	隊本部 (広報)	0740～ 1700	UNトンピン内	2	小型×1	
⑨		情報収集	情報班		UNトンピン内			
⑩		業務調整（衛生）	衛生班	0950～ 1100	カンボジア病院	2	AMB×1	

凡例  UNタスク

活動概要（UNトンピン地区）（2／7）



広報活動



情報収集

活動概要（UNハウス）（3／7）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	UNハウス地区西側外壁構築	2小隊 整備班	0730～ 1630	UNハウス西側	20	高機×3、大型×4 ※ 水、食糧1日分携行 ※ハウス1530前進開始	
②		UNハウス地区西側 ケーブル埋設						
③		UNハウス地区弾薬庫増設	3小隊	0731～ 1630	弾薬庫	18	高機×2、大型×2 特大型×1 ※ 水、食糧1日分携行 ※ハウス1530前進開始	
④	その他	副隊長現場指導	隊本部 (S-3)	0732～ 1000	UNハウス	5	ランクル×1	
⑤		業務調整（施設） 広報活動	隊本部 (S-3) (広報)	0732～ 1400	UNハウス	3	高機×1	

活動概要（UNハウス）（4／7）



活動概要（ジュバ市内）（5／7）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	情報	経路偵察	隊本部 (S-2)		ジュバ市内			
②		情報収集	情報班		ジュバ市内			
③	その他	銀行業務	隊本部 (S-4)	1330～ 1600	ジュバ市内	3	高機×1	
④		市内研修	隊本部 (S-1)	1210～ 1530	ジュバ市内	11	ランクル×2	
⑤		業務調整（連絡）	隊本部 (S-3)	0820～ 1200	日本大使館	3	ランクル×1	
⑥		重車両輸送支援	警務班	0722～ 1100	ビルファムロード	2	高機×1	
⑦		業務調整（輸送）	隊本部 (S-4)	1300～ 1630	ジュバ空港	4	高機×1	

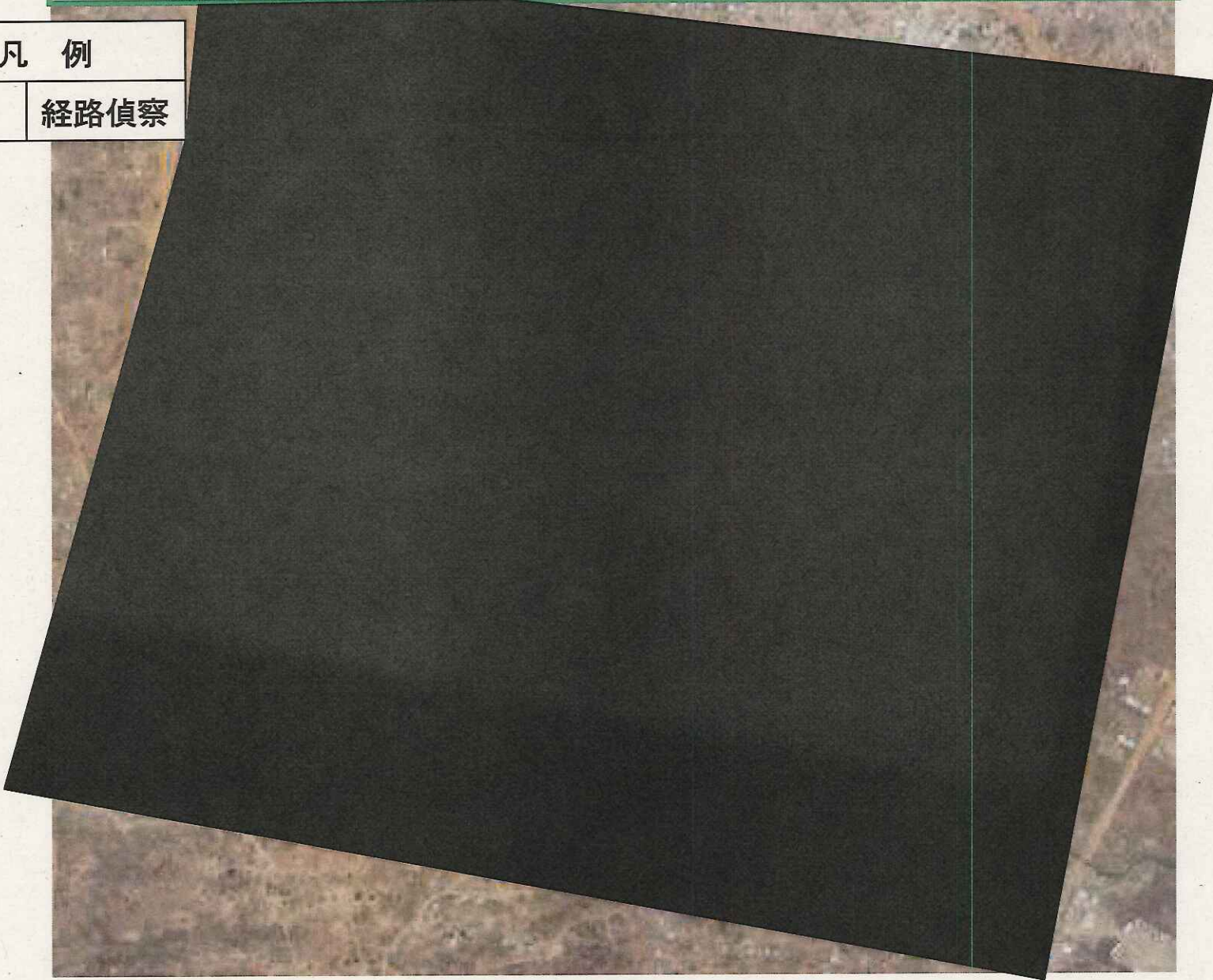
活動概要（ジュバ市内）（6／7）



経路偵察（UNハウス）（7/7）

凡 例

— 経路偵察



本日の活動成果

UNTンピン地区退避壕構築

活動中
施設器材小隊【10.21 1000現在】



活動中
施設器材小隊【10.21 1300現在】



活動成果

進度
累計



退避壕構築位置マラム敷設
(地盤置換)

本日の活動成果

英軍LOプレハブ構築（1 module）

活動前
第1施設小隊【10.21 0900現在】



活動中
第1施設小隊【10.21 1200現在】



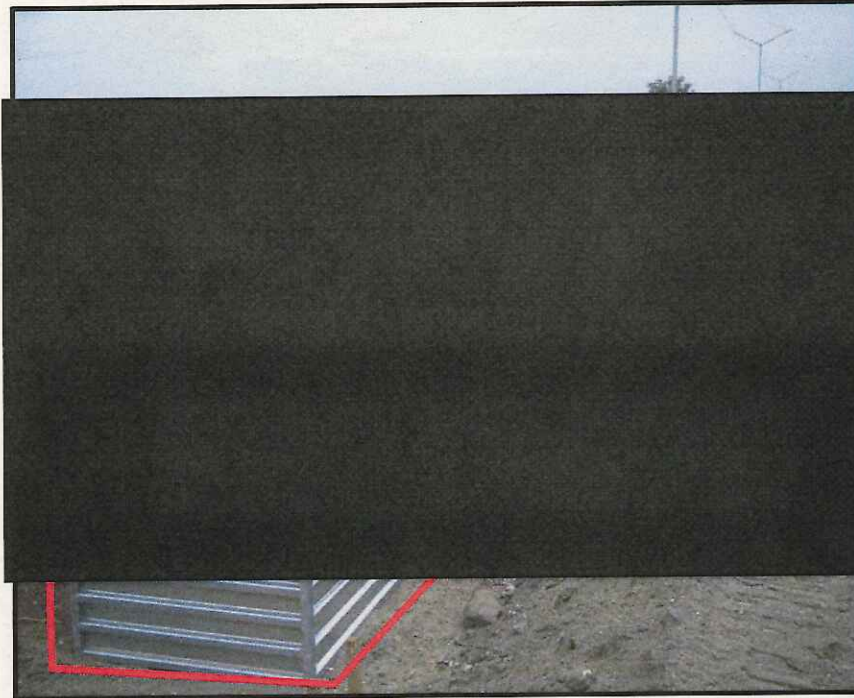
活動成果	
進度 累計	1 床 張 2 壁 根 3 屋 根

本日の活動成果

UNハウス地区西側外壁構築

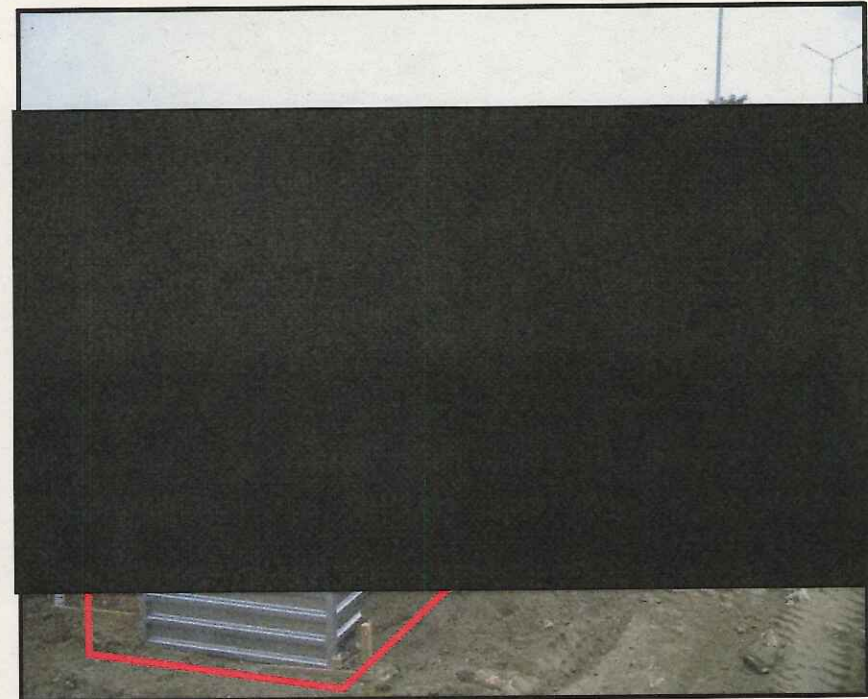
活動前

第2施設小隊【10.21 0900現在】



活動後

第2施設小隊【10.21 1300現在】



活動成果

進度
累計



- ・ 整地作業
- ・ ミフレーム組立設置及び土入れ
- ・ 測量経始

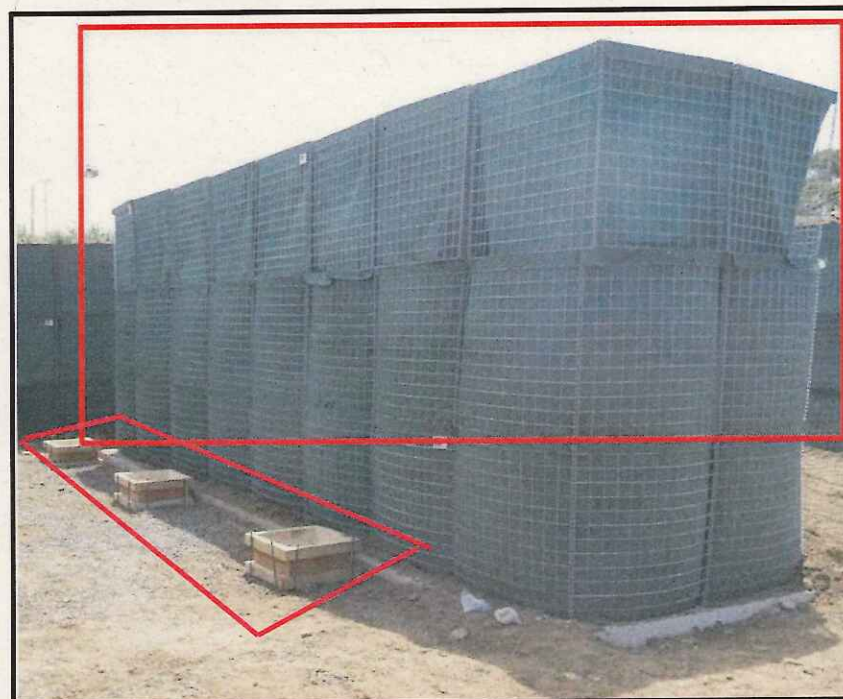
本日の活動成果

UNハウス地区弾薬庫増設

活動前
第3施設小隊【10.21 0900現在】



活動後
第3施設小隊【10.21 1400現在】



活動成果

進捗
累計



- ・ヘスコの設置、土入れ
- ・コンテナ基礎の型枠設置

2 明日の活動

- (1) 活動に及ぼす影響
 - 別紙第3 「情 勢」
 - 別紙第4 「装備品等現況」
 - 別紙第5 「患者受診状況」
 - 別紙第6 「人員現況」
 - 別紙第7 「総括（評価）」
- (2) 活動命令
 - 別紙第8 「施設活動等実施に関する行動命令」
 - 別紙第9 「視察・来隊予定」
 - 別紙第10 「隊長・副隊長・CSMの行動予定」

凡例 青字：新規

赤字：評価

1 南スーダン全域の情勢

(1) 和平合意履行に関する情報

- 大統領報道官は「政府がタバン・デン・ガイ第一副大統領派のグループと、マシャル派SPLM-iOによる国内各地の全ての軍事作戦を野営地の指定後に制圧することで合意した。また、政府はマシャル氏とは交渉せず、タバン第一副大統領のグループと和平合意を履行する。しかしながら、マシャル氏については2018年の選挙には出馬することができる。」と発言

(20日 Sudan Tribune “South Sudan rejects new peace deal with macharr’ s faction”)

- キール大統領のタバン派SPLM-iOのための野営地の設定に関する発言に関連した発言と史料
野営地の設定以降、軍事作戦が実施されるものと思料

- 国連専門家パネルが南スーダンへの武器提供者について安保理に報告したとの報道がなされ、その中で、東ヨーロッパ及び中東における武器提供者の確立したネットワークが南スーダンにおける紛争を煽っている証拠を発見したと記述されている模様

(20日 Israel National News “UN finds weapons supplies fueling South Sudan war”)

- 国連安保理による武器禁輸を検討に関係する報告と史料され、今後、武器禁輸に関する具体的な発言が実施されるものと思料

- 同地域の動向に注視

(2) 和平合意不履行に関する情報

- 引き続き同地域の動向に注視

- 引き続き同地域の動向に注視

凡例 青字：新規
赤字：評価

(3) その他入手した主要な情報資料

- マシャル氏は「私は大統領になる権利があり、ジュバを「解放」するのに十分な部隊を維持しており、早ければ11月に南スーダンに帰国する。」と発言

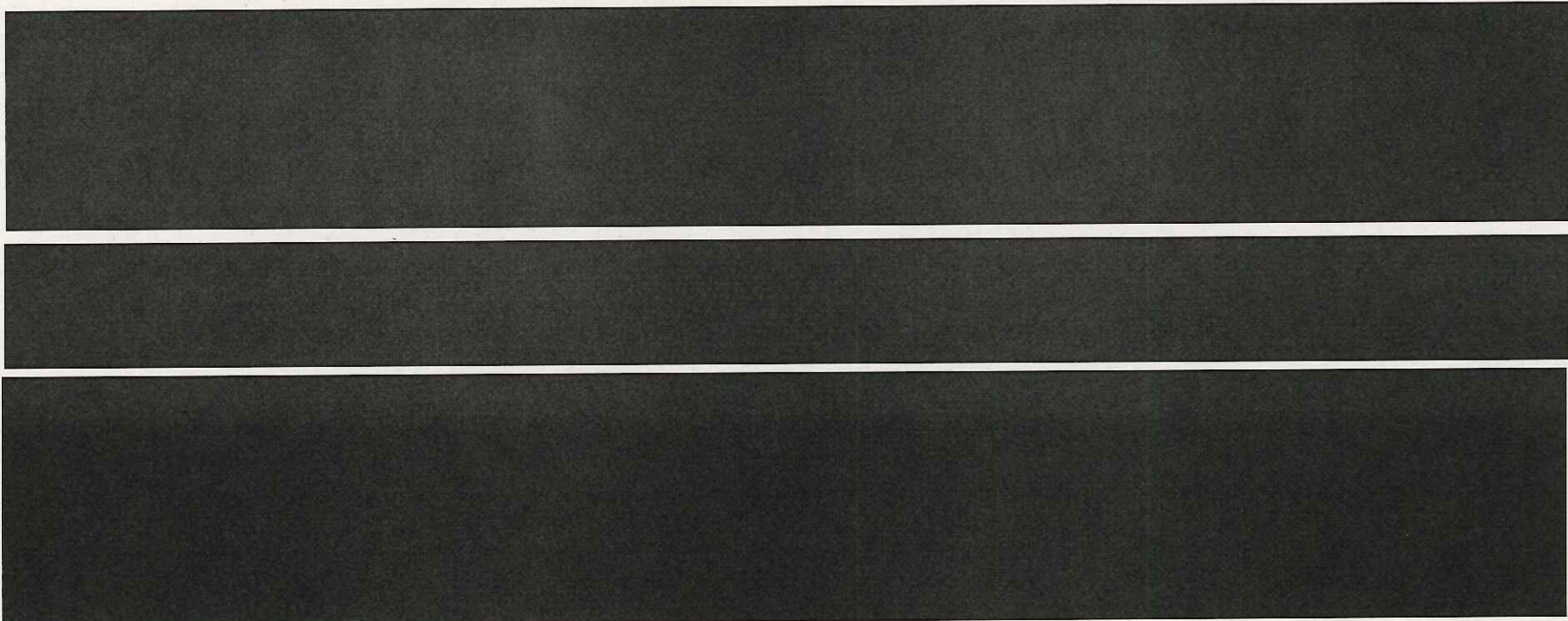
(20日 AP “South Sudan rebel leader says he could return next month”)

→ この発言によりマシャル氏派SPLM-iOの活動が活発になるものと思料。乾季への移行に伴う、各地の勢力の動向に注視

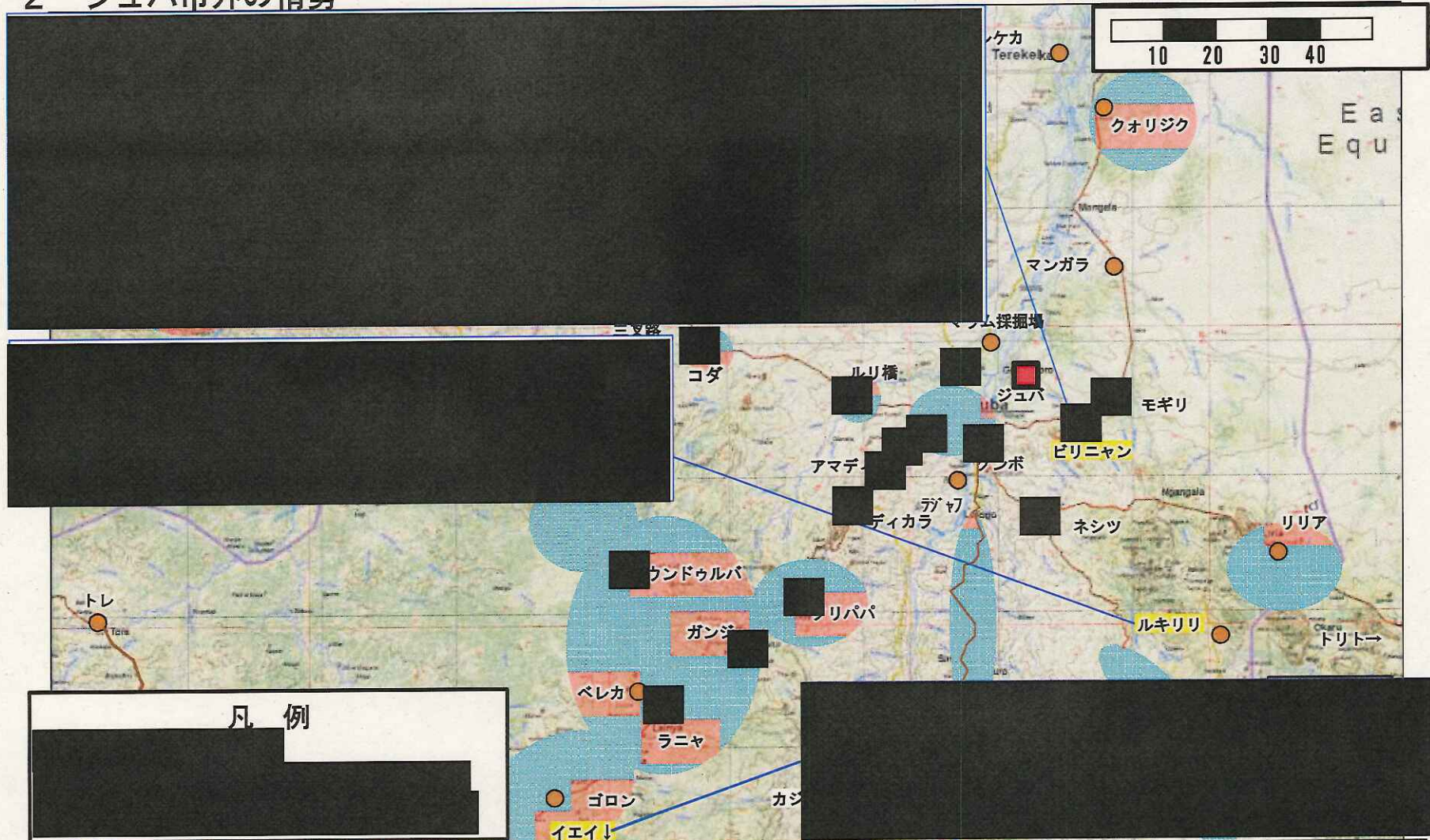
- 国民議会議員4人が、マシャル派SPLM-iOへの離反を表明した模様。なお、4名については上ナイル州ナシール、西エクアトリア州ナゲロ及びマリディ、ユニティ州ルブコナの選挙区代表である模様

3 (20日 Sudan Tribune “Four S. Sudanese MPs join armed opposition movement”)

→ エクアトリアを除き、マシャル氏派SPLM-iOの勢力が大きい地域であるため、今後西エクアトリアにおいても戦闘が起きる可能性。南アフリカに所在するマシャル派との連携に注視



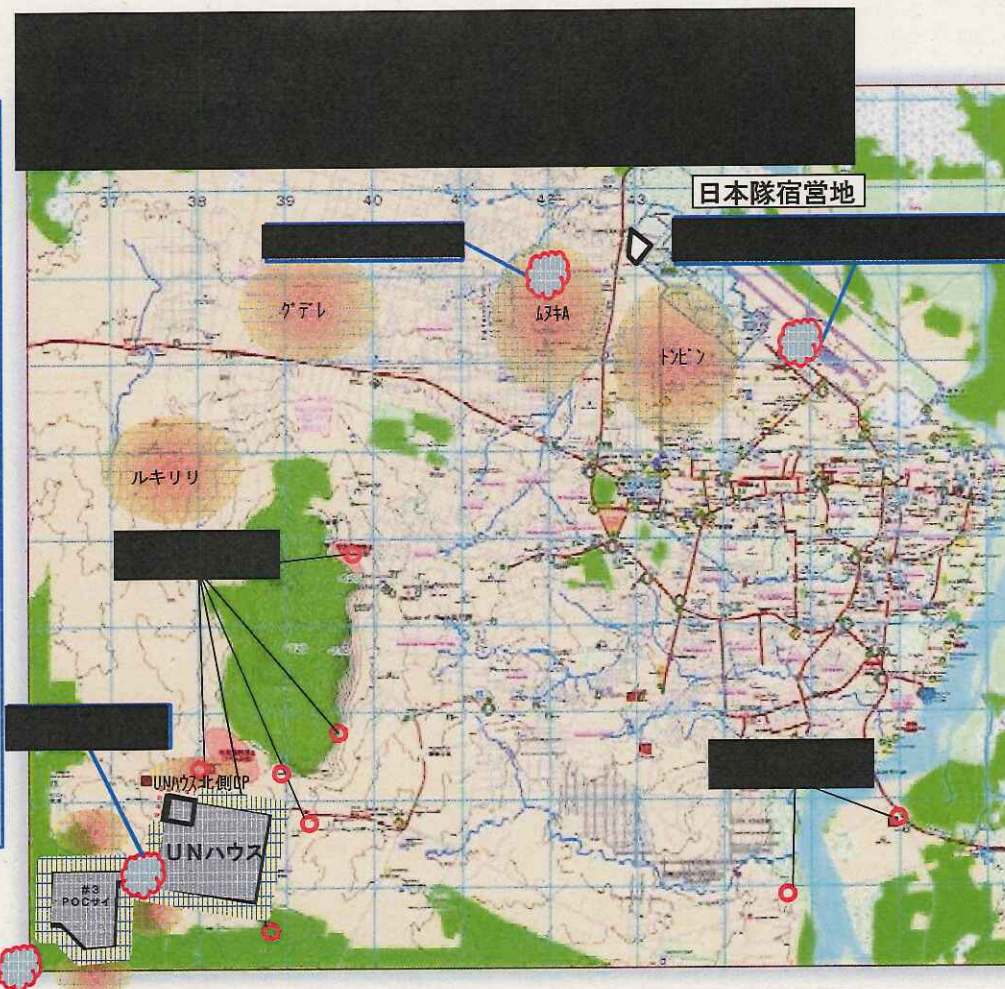
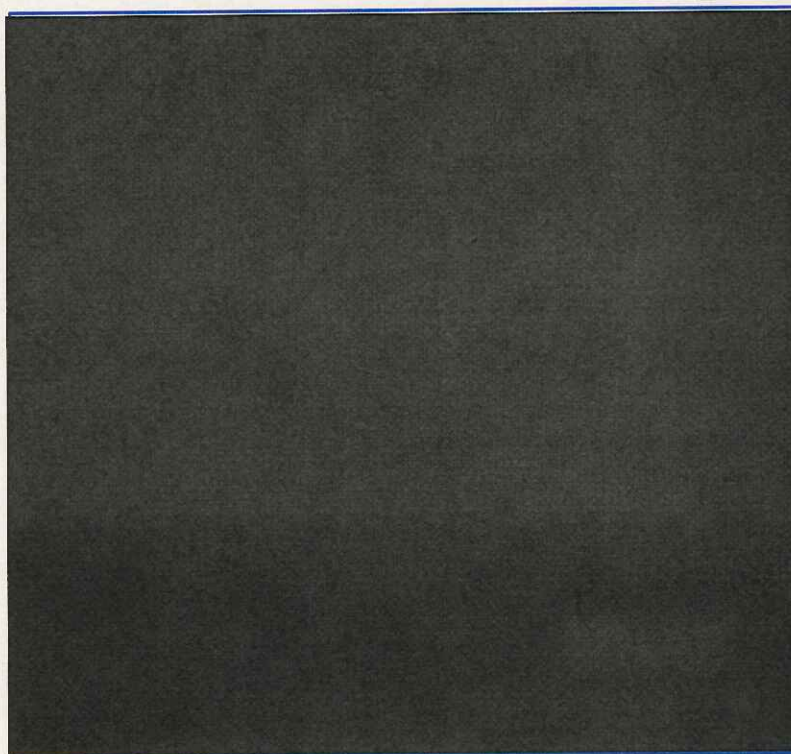
2 ジュバ市外の情勢



評 価

ジュバ西部は一定の落ち着きを取り戻している模様、しかしながら郊外、特にイエイ〜カジョ
ケジー帯は、避難民のコンゴ民主共和国への流入、[REDACTED]等から周辺における戦闘
は継続しているものと思料され、戦闘のジュバ方向への拡大及び物流への影響には注視が必要

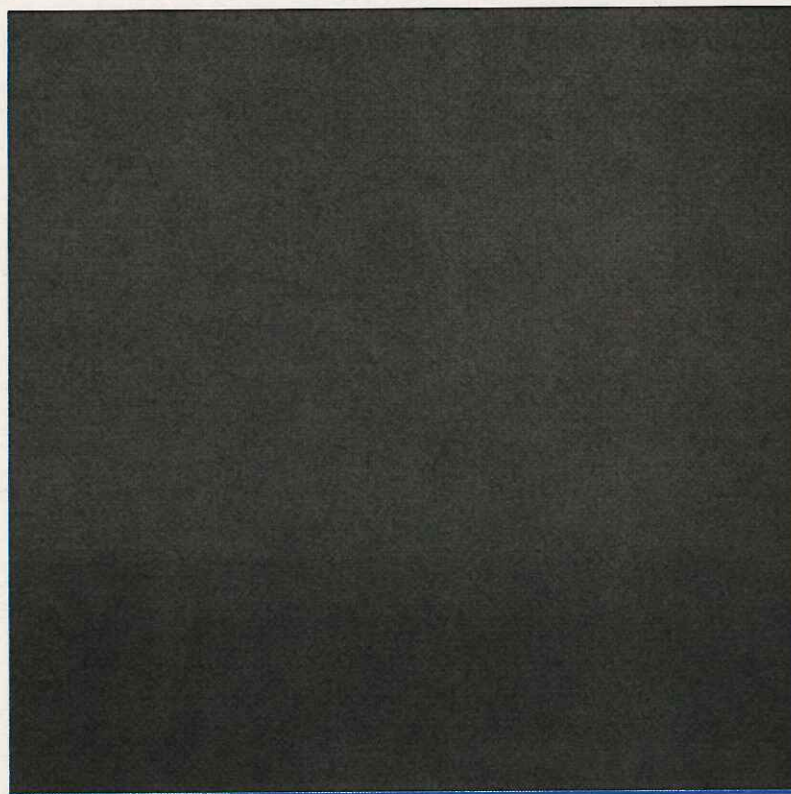
3-1 ジュバ市内の状況 1



評 価

ジュバ市内は、一定の安定を取り戻しているものの、各種離反に関する報道、イエイ道正面の戦闘等から市民感情は敏感になっており、引き続き注視が必要。また、[redacted]では、常続的な射撃や、[redacted]が確認されており、非武装地域の設定合意に基づく作業が開始されたものの、各種活動時にはハラスメント、流れ弾及び巻き込まれに引き続き注意が必要。また、IDPの対UNMISS感情の変化にも注視が必要

3-2 ジュバ市内の状況2



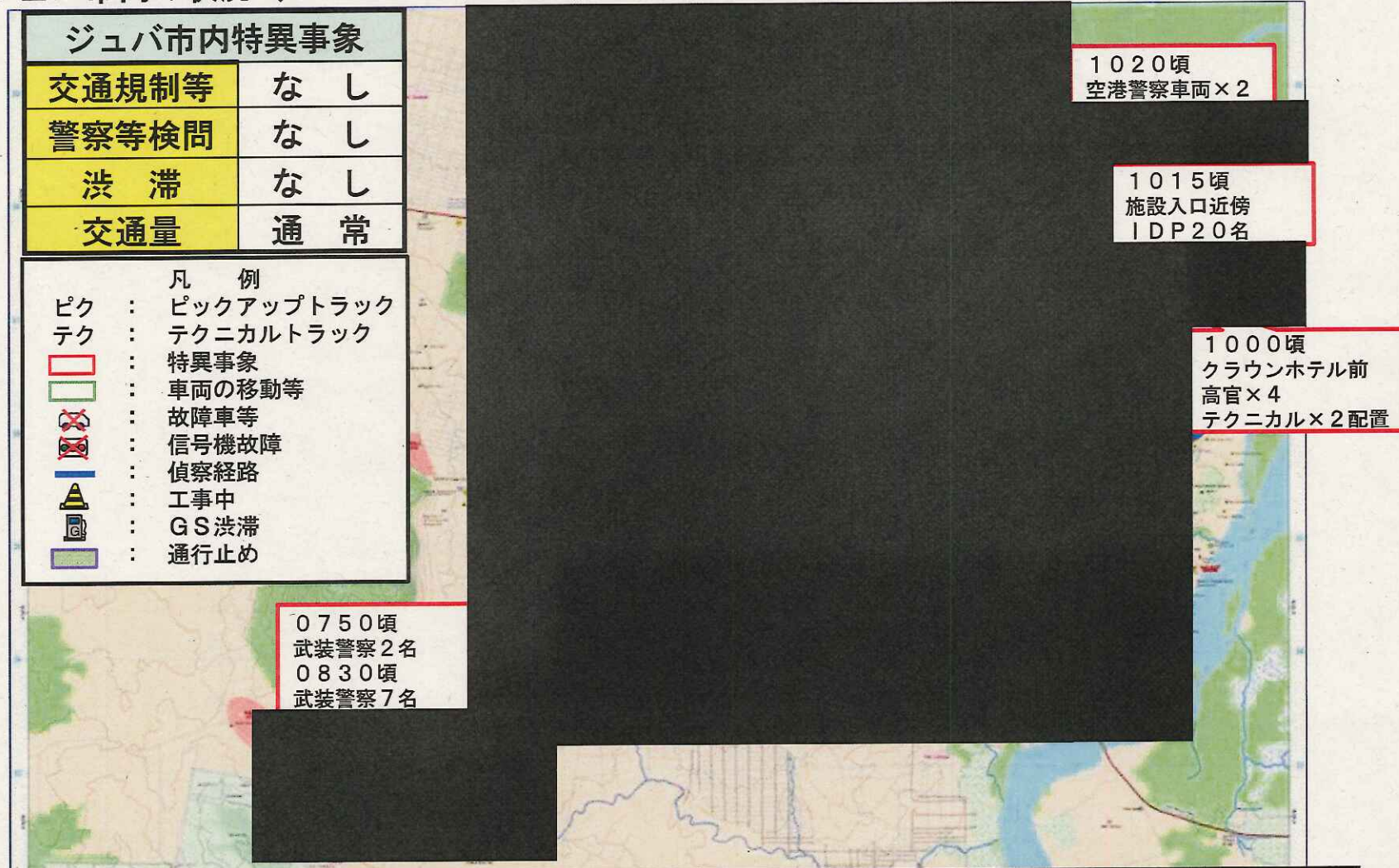
評 価

ジュバ市内は、一定の安定を取り戻しているものの、各種離反に関する報道、イエイ道正面の戦闘等から市民感情は敏感になっており、引き続き注視が必要。また、[redacted]では、常続的な射撃や、[redacted]が確認されており、非武装地域の設定合意に基づく作業が開始されたものの、各種活動時にはハラスメント、流れ弾及び巻き込まれに引き続き注意が必要。また、IDPの対UNMISS感情の変化にも注視が必要

情 勢 (7/8) / Situation

28
別紙第3-7

5 ジュバ市内の状況 (0720~1100)



評 価

市内における全体的な警備強化等の状況は見られなかった。
交通量及び市民の移動は通常通りであり、車両運行には引き続き注意が必要

情 勢 (8 / 8) / Situation

29

別紙第3-8

4 気 象 (0600i)

地 域	天 気	気 温		湿 度		降水量	備 考
		最 低	最 高	最 低	最 高		
ジュバ	晴れ一時雨	22℃	37℃	38%	71%	2mm	
カンパラ	晴れ	16℃	28℃	59%	89%	0mm	

主要装備品等現況／Equipment Status

30

別紙第4-1

10月21日1300c

区 分	可 動 率	状 況	処 置
火 器	100% ■■■■■	な し	
車 両	100% ■■■■■	な し	
施 設	100% ■■■■■	な し	
通 信	100% ■■■■■	な し	
需 品	100% ■■■■■	な し	
衛 生	100% ■■■■■	な し	
その他		150KVA発電機×2 (逆浸透浄水装置用) オルタネータ不良	部品請求実施 ■■■■■ 整備完了まで予備の220KVA 発電機×1を使用

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

31

別紙第4-2

10月21日1300c

区 分		品 名	総 数	取 得	返 納	保 管
弾 薬	B L	9mm普通弾				
		5. 5 6 mm普通弾				
		5. 5 6 mmリンク				
	T R	9mm普通弾				
		5. 5 6 mm普通弾				
		5. 5 6 mmリンク				
	計					
打ち殻	9mm打がら薬きょう					
	5. 5 6 mm打がら薬きょう					
計						

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

32

別紙第4-3

糧食維持日数

喫食者数：322名（総数353名、国連休暇31名）

10月21日1800c

区 分	品 名		取 得	消 費	現保有量	維持日数	備考（処置）
糧食等	個人糧食	戦闘糧食Ⅱ型					
		市販型					
		アルファ米					
		UN非常用糧食					
	耐 久 品	米					
		副食パック					
	UN食材	生 鮮					
		冷凍・耐久					
	現地調達	生 鮮					
		冷 凍					
	そ の 他	加熱剤					
燃 料	COE	UN軽油（発電機）					
	NOE	軽油（調達品）					
		灯油（調達品）					
		ガソリン（調達品）					
水	飲料水						
	海水淡水化装置（浄水）						

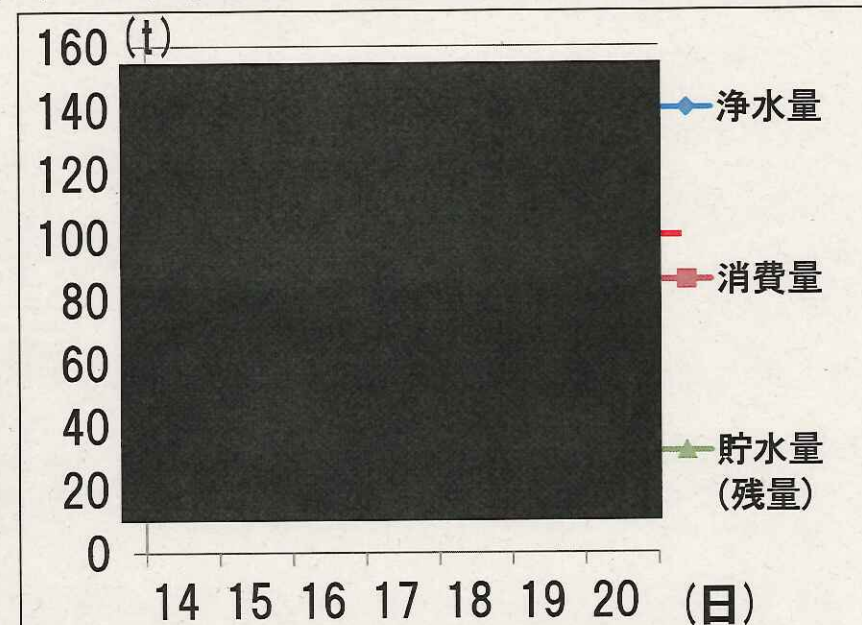
10月21日1300c

第10種補給品（水）の推移（1週間実績）

【H28.10】（10次要員）

凡例 — 消費量の目安ライン

曜	日	浄水量	消費量	貯水量 (残量)
金	14			
土	15			
日	16			
月	17			
火	18			
水	19			
木	20			



他国供給先（前日実績）	供給量
UNハウス	4
トランジット	4
ネパール F P U	
ネパール歩兵中隊	3
エチオピア大隊	
バングラ河川隊	
インド隊	2
合 計	13

【評 価】

○第4井戸の故障復旧後、取水量は安定傾向を保っている。

再度、砂の埋没により故障となる可能性があるため、第5井戸の早期着手により対応(工事期間10月20日から10月下旬)

※ 貯水の危険水位

(注)日々の消費量が を超える日が 日連続で続いた場合、貯水量が減少する。井戸の故障状況によっては数日で危険水位を下回る可能性もある。その場合はシャワーや浴槽、洗濯の使用を制限する。

患者受診状況

受診患者計 6名

10月 20日 1800c
~ 10月 21日 1800c

所属等／Section	傷病者数	疾患名／Disease	備考
本部付隊	2 名		
第 2 施設小隊	1 名		
警備小隊	3 名		

凡例： (再) → 再診

人員現況／Personnel Status

10月21日1800c

	場 所	総員 (名)	事故 (名)	現在員 (名)	事故の内訳 (名)	備 考
第10次要員	ジュバ (UNトンピン)	353	31	322	国連休暇31名 (10/20~25)	

宿営地待機人員

区 分	人員数
待機人員	

凡例 青字：不在者

活動の分析及び評価

36

別紙第7-1

項 目		兆候上	発生する公算
情 勢	宿营地	流れ弾	9/27, 28, 10/4, 6, 9, 10, 11, 16, 17, 20 近傍での射撃（特に夜間）
	UNトンピン	反UNデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/2~5 安保理代表団来南スーダン（2, 3, 4昼, 5朝ジュバ） 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対
		流れ弾	7/11~昼間の発生なし
		疾病罹患・遺棄物での怪我	9/28 IDPの移送完了されるも天幕等残置
	UNハウス	反UNデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対
		IDPの流入又は侵入	
		流れ弾	
			10/4 WFZ（Weapon Free Zone：非武装地域）の予行の実施
	#1POCサイト	IDPとの小競合い（マシヤル派、タバン派）への巻き込まれ	
	#3POCサイト	IDPデモ	7/27 食糧と女性の権利要求デモ
		IDPとの小競合い（マシヤル派、タバン派）	8/31 #3POCサイトでマシヤル派による平和的デモ 9/17 SPLAのPOCサイトへの侵入
		疾病罹患	7/13 疾病による死者発生、死体放置

活動の分析及び評価

37
別紙第7-2

項 目			兆候上	発生する公算
情 勢	ジュバ市内	ハラスメント及び巻き込まれ	9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/12 UNMISSの移動の自由の保証（大統領報道官） 10/12 タバン第1副大統領の帰国（米国） 10/12 大統領の顕在誇示による市民の不安の払拭 10/19 JMEC全体会議の開催	
		反UNデモ	8/22 地域保護部隊に関する一定の譲歩、米からの資金援助 8/30 高官ゲートでUN介入反対の横断幕 9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/27 制裁専門家バ 礼報告 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対	
		流れ弾	9/22 夜間の対地区で10発以上の射撃	
	ジュバ～ ・マンガラ ・コダ ・マラム採掘場	戦闘への巻き込まれ		
		ハラスメント		
		犯罪への巻き込まれ	10/13, 17 エクアトリアンを標的とした犯罪	

活動の分析及び評価

38

別紙第7-3

活 動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
宿営地活動	流れ弾		
UNトンピン 活動	反UNデモ		
	流れ弾		
	疾病罹患・遺棄物での怪我		
UNハウス 活動	反UNデモ		
	IDPの流入		
	流れ弾		
#1POC サイト	IDPとの小競合いへの巻き込まれ		
#3POC サイト	IDPデモ		
	IDPとの小競り合い IDP内の小競合いへの巻き込まれ		
	疾病罹患		

活動の分析及び評価

39
別紙第7-4

活 動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ市内の 活動及び通行	ハラスメント及び巻き込まれ		
	反UNデモ		
	流れ弾		
ジュバ郊外 活動 (口)、ラニャ、 トリ、マガラ)	戦闘への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	武装強盗への巻き込まれ		

総 括

ジュバ市郊外での戦闘は小康状態にあるものの、
が発生しており注視が必要、また、
で
の常続的かつ単発的な射撃の発生及び銃を携行したSPLA兵士が確認され
るとともに、IDPが火器を保有している可能性は否定できず、巻き込
まれ及び流れ弾が同地域周辺で発生する可能性が高い。

また、

IDPとのUNPOLとの間で小競合いが発生し
ており、IDPの対UNMISS感情の変化及び
には注視が必要

加えて、ジュバ市郊外へ向かう検問所ではSPLAによる通行制限が継
続中であり、移動の自由の撤廃に関する政府発言の履行に実効性は乏しい
ものと思料

さらに、ジュバ市内においては大統領の健在が示されたことで、市民の
不安感は払拭されたものと思料され、パニック等に至る可能性は低いと見
積もられるが、引き続き状況の変化に注視が必要

また、キール大統領が地域保護部隊の早期展開に協力的な姿勢を見せ始
めたものの、市民団体は地域保護部隊の派遣に反対を示しており、対UN
感情の変化には注視が必要

UNトンピン内においては、IDPの遺棄した不審物、疾病への罹患に
引き続き注意が必要であるとともに、ジュバ西部及び南部の戦闘にも、マ
シャル氏がキール政権に対する抵抗を宣言したことから、注視が必要

総 括

41

別紙第7-6

評 価 (総括)	- 宿営地内及びUNトンピン内活動は、IDP移動完了に伴う道路整備等において、遺棄物等による怪我、疾病罹患に対する防護が必要 - ジュバ市内の移動・活動は、空港・検問によるハラスメントの可能性があるものの、それ以外の地域におけるハラスメントの可能性は低く、各歩兵大隊のパトロール情報及び自隊の経路偵察により、市内状況を確認し、移動時間、移動経路・予備経路の指定など処置が必要 - UNハウスにおける活動は、UNハウス西側・南側における射撃事案、流れ弾及びIDPによる投石の可能性があり、処置事項を実施することで活動可能であるが、UNハウス西側における活動は、最近の射撃事案発生個所に比較的近傍であるため、車両による防護準備が必要 また、ジュバ西部及び南部の戦闘の状況及びUNハウス地区近傍における発砲状況によっては、前進時期、活動中止、宿営地への撤収等の統制が必要							
処置・対策	<table border="1"> <tr> <td>IDPとの小競合い</td><td rowspan="6"></td></tr> <tr> <td>疾病罹患</td></tr> <tr> <td>流れ弾対処</td></tr> <tr> <td>IDPデモ対処</td></tr> <tr> <td>SPLA等によるハラスメント</td></tr> <tr> <td>戦闘への巻き込まれ</td></tr> </table>	IDPとの小競合い		疾病罹患	流れ弾対処	IDPデモ対処	SPLA等によるハラスメント	戦闘への巻き込まれ
IDPとの小競合い								
疾病罹患								
流れ弾対処								
IDPデモ対処								
SPLA等によるハラスメント								
戦闘への巻き込まれ								

明日の活動命令 (Operations)

- 1 施設活動等実施に関する活動命令
(方針・指導要領) (Policy & Guidance)
- 2 視察・来隊予定 (Schedules of visitors)
- 3 隊長・副隊長・CSMの行動予定
(CO/DCO/CSM Schedules)

10月22日施設活動等実施に関する南スーダン派遣施設隊活動命令

1 情勢報告参照

- 2(1) 隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてUNトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施の環境作りとして、UNトンピン地区英軍LOプレハブ構築及び退避壕構築を実施する。

また各種整備を実施し、装備品等の可動率の維持・向上を図るとともに、孤児院の慰問を実施し、南スーダンの将来を担う子供達の成長を支援して、南スーダンの平和と発展に寄与するとともに、各派遣国部隊の下士官を宿営地に招待して下士官間の交流を図ることにより、日本国への信頼を醸成する。

(2) ア 活動警備レベル（基準）

(ア) UNトンピン地区 レベル

(イ) ジュバ市内

a zone 3 (ハイムオジフィン) レベル

c zone 4 (ジュバタウン) レベル

d zone 5 (ハイシネマ) レベル

e zone 6 (ハイカトウエスト) レベル

イ 宿営地警備

- 3 (1) 共 通
孤児院の慰問及び各種整備
- (2) E q P t (施設器材小隊)
UNトンピン地区退避壕構築、状況により臨時工兵課タスクの実施
- (3) 1 E P t (第1施設小隊)
UNトンピン地区英軍LOプレハブ構築
- (4) S e c P t (警備小隊)
宿営地警備、同行警備及び [REDACTED]
- (5) H Q U (本部付隊)
宿営地維持・管理活動、UNトンピン地区内給水活動及び [REDACTED]
- (6) M I S e c (情報班)
ジュバ市内及びUNトンピン地区における情報収集
- (7) G u a r d S e c (警護班)
隊長警護
- (8) M P S e c (警務班)
[REDACTED]

4 本職不在間は、副隊長が指揮

活動概要（UNトンピン地区）（1／5）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	トンピン地区退避壕構築	器材小隊	0800～ 1200	UNトンピン内	4	高機×1	
②		英軍LOプレハブ構築	1小隊	0800～ 1200	エチオピア 歩兵大隊北側	3	高機×1	
③	その他	給 水	補給班	0800～ 0900	トランジット	2	給水車×1	
④	その他	給 水	補給班	0900～ 1000	インド歩兵大隊	2	給水車×1	
⑤	情報	情報収集	情報班		UNトンピン内			
⑥	その他	広報活動	隊本部 (広報)	0740～ 1600	UNトンピン内	2	小型×1	
⑦		業者送迎（井戸）	隊本部 (S-4)	0800～ 1600	メインゲート	2	小型×1	
⑧		下士官交流	隊本部 (最先任) 各部隊	0900～ 1500	日本隊宿营地			

活動概要（UNトンピン地区）（2／5）



5	情報収集
6	広報活動

活動概要（UNハウス地区）（3／5）

UNハウス活動部隊なし

活動概要（UNハウス地区）（4／5）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	情報	経路偵察	隊本部 (S-2)		ジュバ市内			
②		情報収集	情報班		ジュバ市内			
③	その他	孤児院慰問	隊本部 各部隊	0840～ 1230	OH孤児院	20	ランクル×1、高機×2	
④		隊長孤児院慰問視察	隊本部 (S-1) (S-3)	0915～ 1015	OH孤児院	5	ランクル×1	
⑤		現地調達（補給班）	補給班	0900～ 1200	ジット LA BAGETTO	3	高機×1	

活動概要（ジュバ市内）（5／5）



視察・来隊予定 (Schedules of visitors)

時 間	視察・来隊者	備 考
10月22日 (土) 0930~1250	軍事部門最先任上級曹長 [Redacted Name] [Redacted Name]	[Redacted Remarks]

隊長、副隊長の行動予定

別紙第10-1

	AM	PM	課業外
隊長			
副隊長			

最先任上級曹長の行動予定

別紙第10-2

	AM	PM	課業外
最先任 上級 曹長			

3 じ後の予定

別紙第11「全般活動予定」

10月 月間業務予定

[illegible]

青字：隊長活動
赤字：変化事項

週間活動予定（10/16～10/22）第45週

日	10/16	10/17	10/18	10/19	10/20	10/21	10/22
曜日	日	月	火	水	木	金	土
全 般							
0700							
0800							
0900							
1000							
1100							
1200							
1300							
1400							
1500							
1600							
1700							
1800以降							
備 考							

週間活動予定 (10/23~10/29) 第46週

日	10/23	10/24	10/25	10/26	10/27	10/28	10/29
曜日	日	月	火	水	木	金	土
全 般							
0700							
0800							
0900							
1000							
1100							
1200							
1300							
1400							
1500							
1600							
1700							
1800以降							
備 考							

4 情報共有事項

別紙第12「連携案件等情報」

連携案件等情報

1 形成中の案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	現 状	調整先	調整状況・備考等	評価
1	ODA-PKO 連携案件	職業訓練 「#4 さくらPJ」	MTC	実施困難	MTC JICA	・10/1 JICA南スーダン事務所長交代 (ウガンダ事務所長兼任) ・10月中に東京JICA南スーダン事務所のウガンダ移転完了予定も年内の南スーダンへの復帰見込みなし ・現在のUNMISSの活動の焦点・他業務予定を考慮すると実施困難	
		フリーダムブリッジにおける作業支援	JICA 大日本土木	CRFにおいて実施の可否を検討中	CRF JICA	CRFにおいて外務省及びJICAによるプロジェクト継続等に関する再検討の結果待ち	
2	国際機関等 連携案件	UNOPS水質調査支援 (日本補正予算によるボル河川港建設PJに伴う水質調査の依頼)	UNOPS (大使館)	工兵課から タスク発出済み	UNOPS (※) (大使館)	当初予定されていたボル河川港建設準備のための事前水質調査については別機関により実施済み。ただし、建設中・後で引き続き水質調査が必要になることが見込まれるため、支援依頼については引き続き継続	
3		UNハビタット (日本政府予算によるワウ・ジュバにおける居住環境整備事業)	UN ハビタット (大使館)	大使館から連携の可能性検討再開の打診あり	UN ハビタット (大使館)	・7/25に隊への事業内容に関する説明、隊から先方への治安上実施困難である旨、連携には工兵課の承認を得るための先方からのリクエストが必要である旨通報済み ・UNハビタットは、7月衝突事案以降中断していた施設隊との連携に向けた調整を再開したいとの意志あり ・UNハビタット側から、施設隊との連携実現のためのUNMISSレベル(DSRSG)への打ち込みを実施予定 ・10/21に、担当者から大使館・隊担当への説明予定	

※ UN Office for Project Services : 国連プロジェクト・サービス機関)

凡 例 ◎ : タスク化成立 ○ : 自隊による実施 × : 実行の可能性低 ー : 調整中

2 終了案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	概 要	実施時期
	ODA-PKO 連携案件	なし			
	国際機関等 連携案件	なし			

5 參考資料

気 象 (21~22日) ジュバ/Weather JUBA

最高気温 (1400
まで反映) 60

気温(直射)	気温(日陰)	湿 度	総雨量
37℃	31℃	38%	2mm



日(曜) Date		21日(金)		22日(土)					
時 Hrs		18~21	21~24	0~3	3~6	6~9	9~12	12~15	15~18
主要な活動						下士官交流・孤児院慰問			
						UNの基盤整備			
		国連休暇(8Gp)							
Juba	天 気								
	気温(℃)	31	25	24	23	29	36	38	35
	体感気温(℃)	35	27	26	25	32	38	39	37
	降水確率	60%	80%	60%	0%	0%	0%	0%	0%
	雨 量	2mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm
	風 向	南	南南西	南西	南	南東	東南東	北東	北
	風 速	2	2	1	2	2	2	2	1
評価 Assesment	施設活動								
	行 事								

凡例 影響度: 問題なし < 一部制限 < 実施困難

資料源: WORLD WEATHER ONLINE

気 象 (週間) ジュバ/Weekly Weather JUBA

日 (曜)		2 3 日 (日)	2 4 日 (月)	2 5 日 (火)	2 6 日 (水)	2 7 日 (木)
主要な活動					ウガンダ出張	
			UNの基盤整備			
		国連休暇 (8 Gp)				国連休暇 (9 Gp)
Juba	天 気					
	気温 (°C)	3 7 / 2 3	3 8 / 2 3	3 6 / 2 3	3 9 / 2 3	3 5 / 2 2
	降水確率	3 0 %	7 0 %	5 0 %	4 0 %	8 0 %
	雨 量	0 mm	0 mm	3 mm	0 mm	1 2 mm
	評 価	問題なし			一部制限	
Kampala	天 気					
	気温 (°C)	3 1 / 1 7	3 4 / 1 6	3 3 / 1 6	3 1 / 1 7	3 0 / 1 6
	降水確率	9 0 %	9 0 %	9 0 %	9 0 %	9 0 %
	雨 量	5 mm	1 mm	3 mm	5 mm	4 mm

凡例 影響度 :

問題なし

<

一部制限

<

実施困難

資料源 : WORLD WEATHER ONLINE

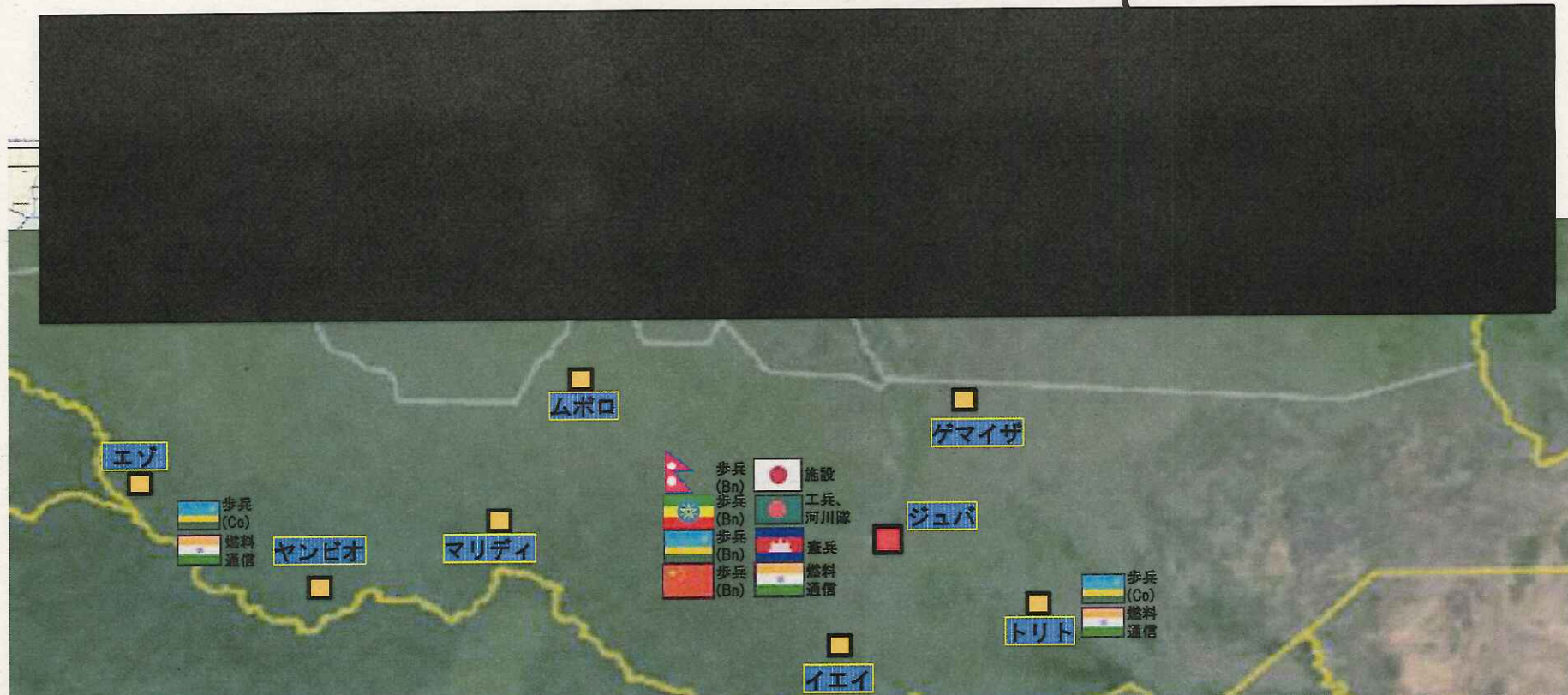
評 価
Assessment

- 1 ジュバは25日以降天候が不安定となる模様。局所的な降雨に注意
- 2 ウガンダは期間を通じて、天候が不安定である模様。局所的な降雨に注意

評 価

セクターサウス内部状況（2016年10月20日現在）

64



 **エチオピア**
歩兵大隊 I
(本部:ジュバ)

 **ネパール**
歩兵大隊 II
(本部:ジュバ)

 **中国**
歩兵大隊
(本部:ジュバ)

 **ルワンダ**
歩兵大隊 I
(本部:ジュバ)

航空部隊
Mi17×6機
(本部:ジュバ)

 **日本**
施設部隊
(約350名:本部:ジュバ)

 **バングラデシュ**
施設部隊 (本部:ジュバ)
河川部隊 (本部:ジュバ)

 **カンボジア**
憲兵隊:(本部:ジュバ)
医療部隊:(本部:ジュバ)

 **インド**
歩兵大隊 II

 **エチオピア**
歩兵大隊 II

 =増派部隊

 =後方支援部隊

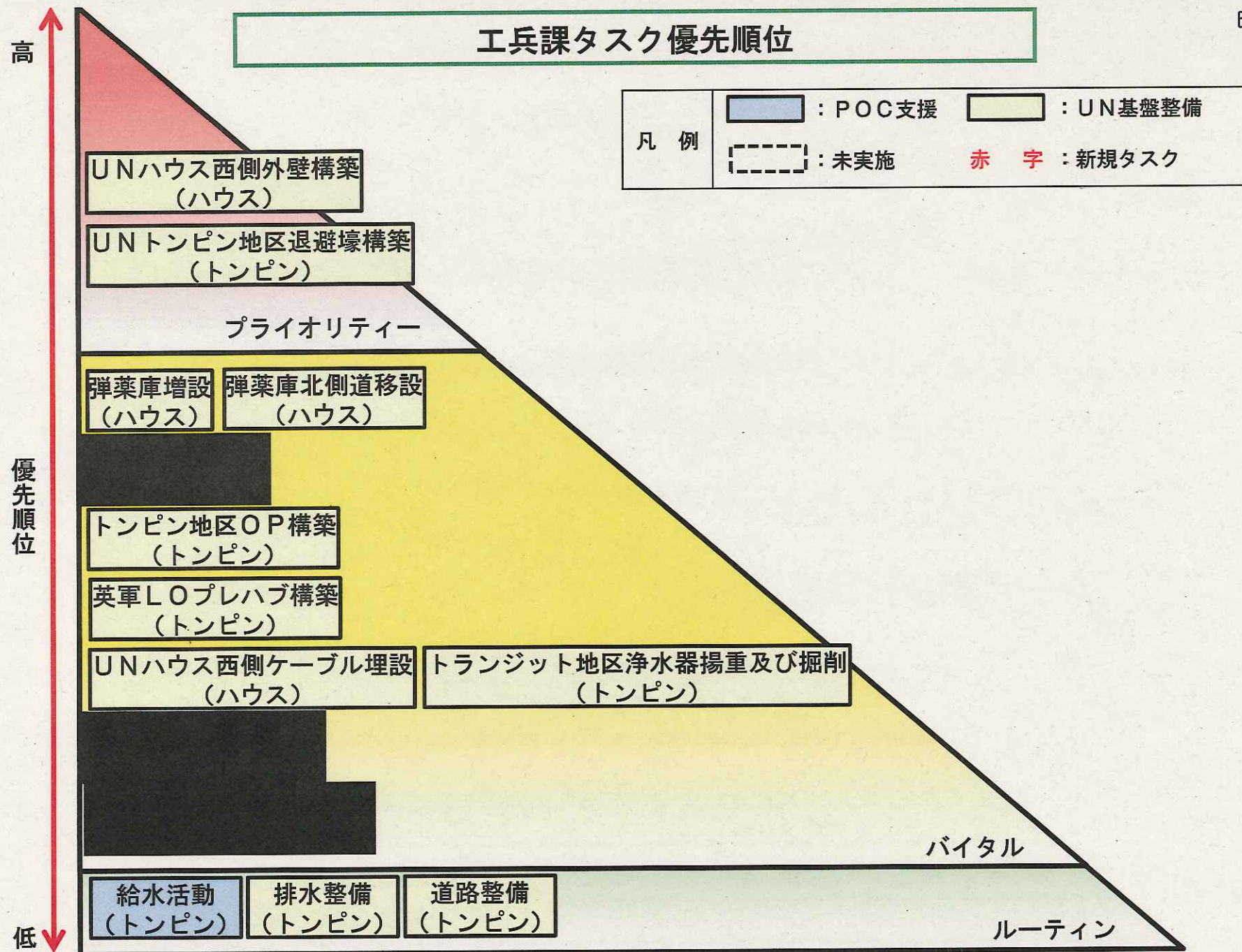
人員現況（第10次要員）

65
28. 10. 21
1 8 0 0 c

場 所	部 隊	総 員	内 訳			現在員	事故	理由
			幹部 (O)	准曹 (WS)	陸士 (P)			
ジュバ	隊本部							国連休暇 5 名
	付隊本部							
	隊本部班							国連休暇 1 名
	整備班							国連休暇 3 名
	補給班							国連休暇 3 名
	通信班							
	衛生班							国連休暇 2 名
	営繕班							
	施設器材小隊							国連休暇 3 名
	第1施設小隊							国連休暇 3 名
	第2施設小隊							国連休暇 3 名
	第3施設小隊							国連休暇 2 名
	警備小隊							国連休暇 4 名
	情報班							
	警護班							国連休暇 1 名
	派遣警務班							国連休暇 1 名
合 計		353	65	252	36	322	31	

凡例 青字：不在者

工兵課タスク優先順位



新規タスク一覧

67

新規タスク	
タスク名	UND a y 会場準備
意 義	UN行事の基盤向上に寄与
目 的	UND a yにおいて、クレーン支援を実施して同行事の円滑な実施に寄与
内 容	クレーンによる国旗の掲揚
区分・期間	バイタル・1日

10月21日タスク等現況(1/2)

68

凡 例 : POC支援 : インフラ整備 : UN基盤整備 : 国際機関等連携案件

1 実施中

タスク No	活動区分	優先 順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の 進捗状況	開始 時期	終了 時期	昼食の 形態	備 考
487	UN 基盤整備	1	UNハウス 西側外壁構築	UNハウス	ミフラム構築	実施 計画				
492	UN 基盤整備	2	UNトンピン地区 退避壕構築	UNトンピン	退避壕構築	実施 計画				
470	UN 基盤整備	3	弾薬庫北側道路移設	UNハウス	道路移設	実施 計画				マラム待ち
469	UN 基盤整備	4	弾薬庫増設	UNハウス	ヘスコ増設 外柵構築	実施 計画				
476	UN 基盤整備	5	トンピン地区OP構築	UNトンピン	ヘスコ構築 屋根構築	実施 計画				工兵課の 指示待ち
503	UN 基盤整備	6	英軍LOプレハブ構築	UNトンピン	プレハブ構築	実施 計画 実施 計画				
505	UN 基盤整備	7	トランジット地区 浄水器揚重及び掘削	UNトンピン	揚重及び掘削	実施 計画				工兵課の 指示待ち
504	UN 基盤整備	8	UNハウス西側 ケーブル埋設	UNハウス	ケーブル埋設	実施 計画				
325	POC 支援	9	給水活動	UNトンピン	給 水					
471	UN 基盤整備	10	排水整備	UNトンピン	排 水					
459	UN 基盤整備	11	道路整備	UNトンピン	道路整備					

10月21日タスク等現況(2/2)

69

凡 例 : UN基盤整備

2 未実施

タスク No	活動区分	優先 順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の 進捗状況	開始 時期	終了 時期	昼食の 形態	備 考
456	UN 基盤整備			UNトンピン						
500	UN 基盤整備			ジュバ市内						
506	UN 基盤整備			ジュバ市内						

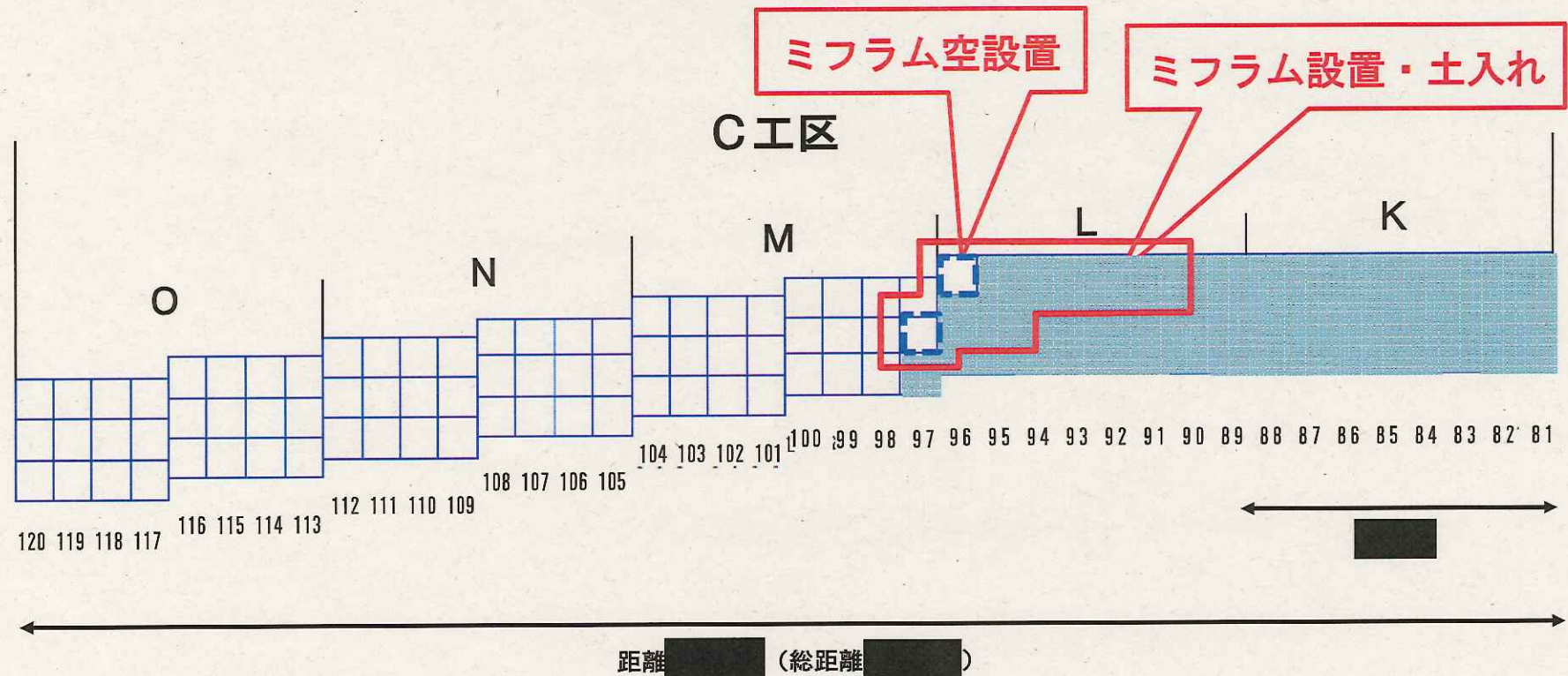
タスク累計受領数(完了数)	タスク実施数(第10次要員)	
506 (489)	プライオリティー	14
	バイタル	66
	ルーティン	3
	計	83
		完了 69
		実施中 11
		未実施 3

UNハウス西側外壁構築全体図

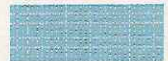


UNハウス西側外壁構築（10月21日現在）

71



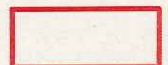
凡例



ミフラム設置



空ミフラム設置箇所



本日作業箇所

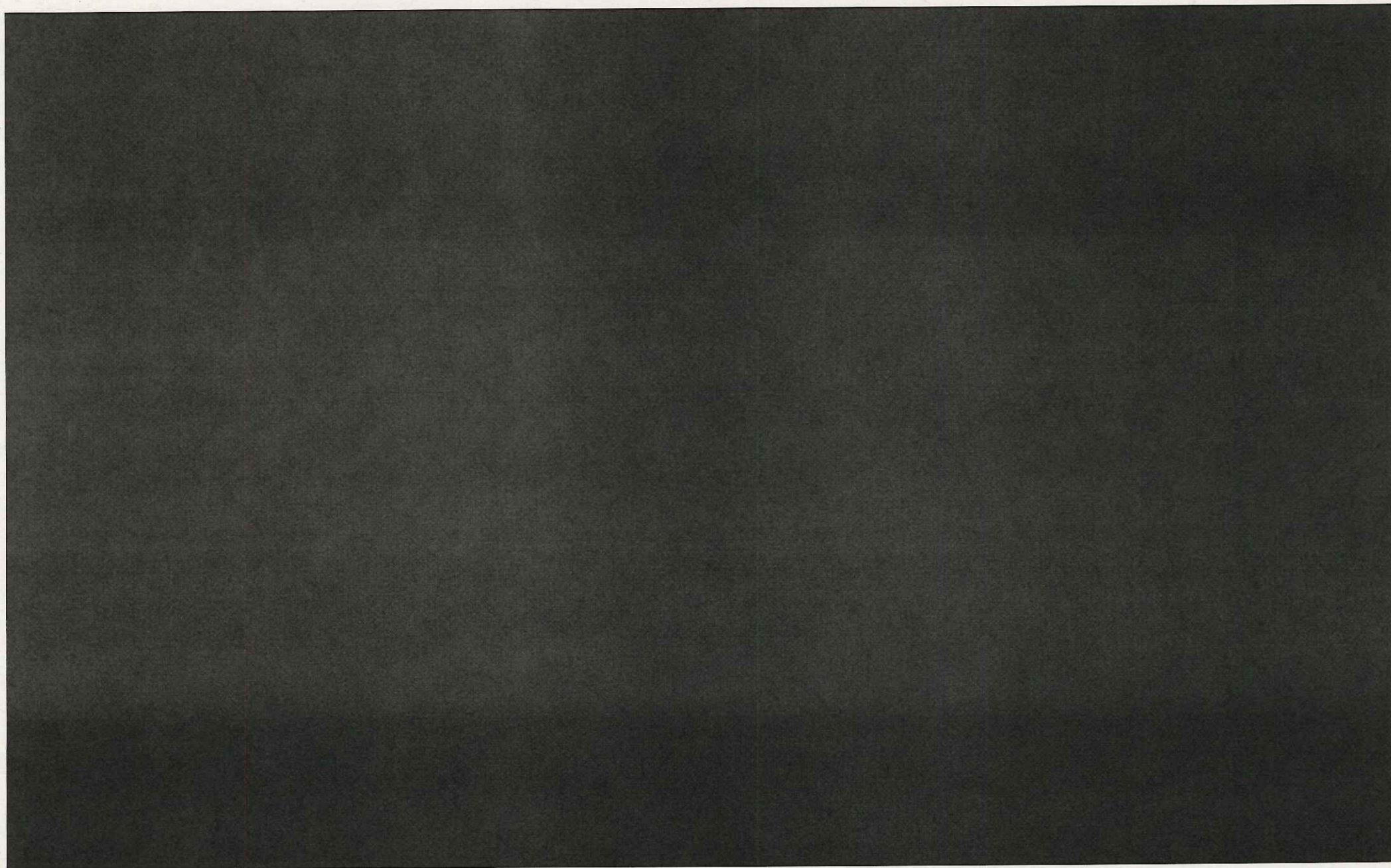
成果

ミフラム設置

※ 赤字：作業完了により変更部分

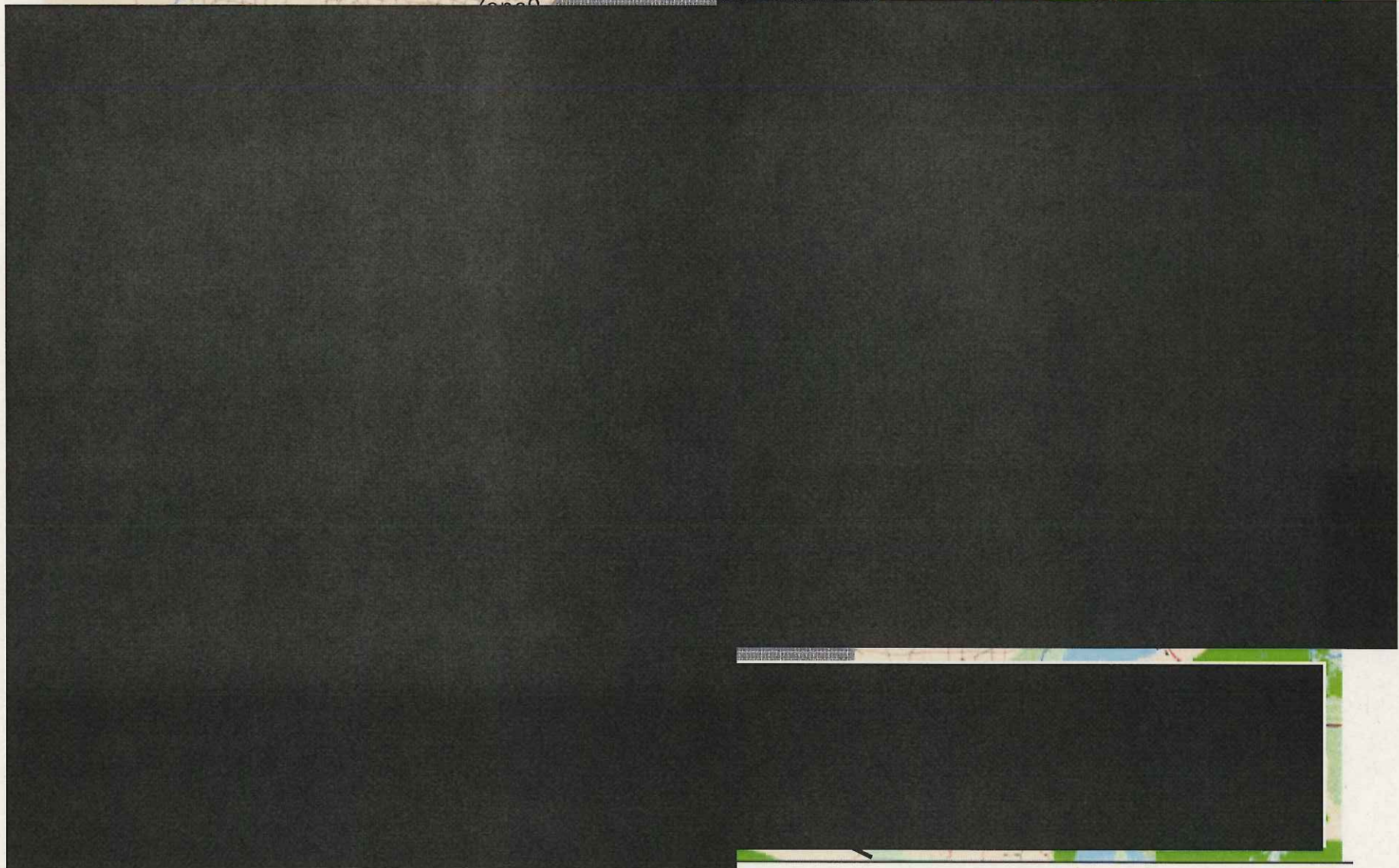
UNハウス弾薬庫増設（10月21日現在）

72



地域脅威レベル評価（10月21日）

73
2016.10.20

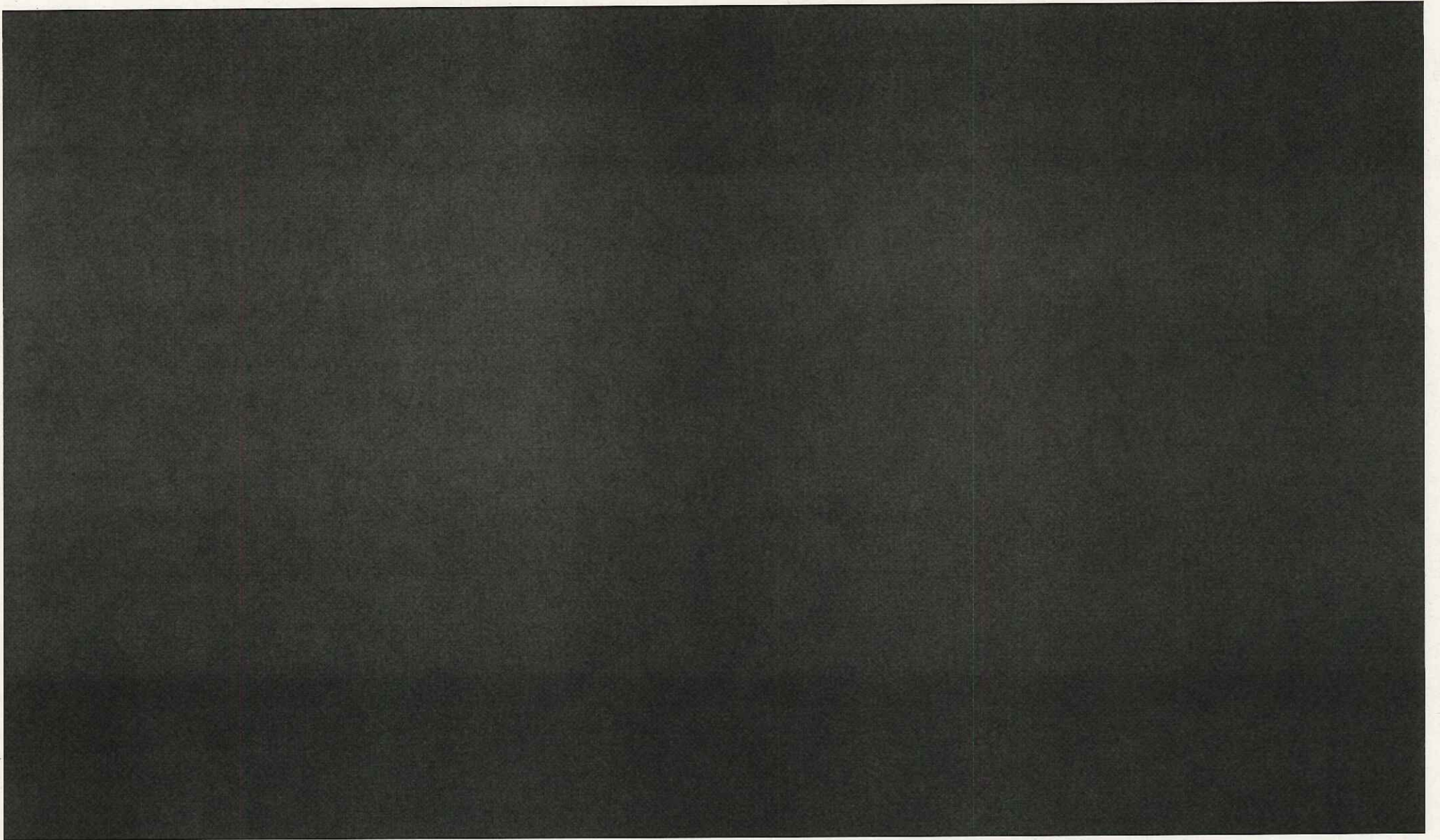


隊員服装・装備等基準

74

区 分	警備小隊	経路偵察に任ずる部隊	活動部隊 (警備、経路偵察除く。)
備考			

警備の態勢 () (10月21日1700現在)



活動写真

UNタスク (UNトンピン)

英軍LOプレハブ構築
(第1施設小隊)

UNタスク (UNハウス)

UNハウス西側外壁構築
(第2施設小隊)

UNタスク (UNハウス)

UNハウス地区弾薬庫増設
(第3施設小隊)

自隊計画 (UNハウス)

副隊長現場指導
(UNハウス西側外壁構築)